

# 令和5(2023)年度 病害虫発生予報 第11号

令和6(2024)年2月16日  
栃木県農業環境指導センター

## 施設内の温度や湿度を適正に保ち、病害虫の発生を抑えましょう。

予想期間 2月下旬～3月下旬 予報の根拠で、(+)は増加要因、(-)は減少要因を表す。

### 1 いちご 灰色かび病

- (1) 発生予想 発生量：**やや多い**
- (2) 根 拠 ・ 現在の発生量は平年並(ほ場率：平年比78%、株率：平年比67%)。(±)  
・ 向こう1か月の気温は高く、降水量は多く、日照時間は少ない見込み。(+)
- (3) 対 策 ・ 多湿条件において発生しやすいので、下葉を除去し株元の風通しをよくするとともに、かん水過多にならないように注意する。  
・ 発病した葉や果実や果梗等は伝染源となるので、速やかに取り除き、施設外で処分する。  
・ 予防を主体に、フルピカフロアブル(RACコードF:9)等を散布する。
- (4) 備 考 ・ [灰色かび病薬剤感受性検定結果①](#)、[②](#)を当センターホームページ(HP)に掲載中。

### 2 いちご うどんこ病

- (1) 発生予想 発生量：**平年並**
- (2) 根 拠 ・ 現在の発生量はやや少ない(ほ場率：平年比47%、株率：平年比100%)。(－)  
・ 向こう1か月の気温は高く、降水量は多く、日照時間は少ない見込み。(＋)
- (3) 対 策 ・ 下葉を除去し株元の風通しをよくするとともに、かん水過多にならないように注意する。  
・ ベルクートフロアブル(F:M7)等を予防的にローテーション散布する。  
・ 発生初期のうちに、パンチョTF顆粒水和剤(F:U6、F:3)等を葉裏にもよくかかるように散布する。  
・ 曇雨天時にはくん煙剤を使用するが、硫黄くん煙は天敵に対し悪影響があるため、天敵導入ほ場では長時間のくん煙処理は避ける。

### 3 いちご ハダニ類

- (1) 発生予想 発生量：**やや少ない**
- (2) 根 拠 ・ 現在の発生量はやや少ない(ほ場率：平年比46%、株率：平年比27%)。(－)  
・ 向こう1か月の気温は高く、日照時間は少ない見込み。(±)
- (3) 対 策 ・ ほ場をこまめに観察し、増殖する前に防除を行う。  
・ 天敵導入ほ場では、ハダニ類の生息状況をよく観察し、必要に応じて追加放飼を検討する。  
・ 化学農薬に対する感受性低下が起りやすいため、RACコードの異なる薬剤をローテーション散布する。  
・ 葉かき後は薬剤がかかりやすいため、葉かき作業にあわせて薬剤を散布する。
- (4) 備 考 ・ [ナミハダニ薬剤感受性検定結果](#)を当センターHPに掲載中。

### 4 いちご アザミウマ類

- (1) 発生予想 発生量：**平年並**
- (2) 根 拠 ・ 現在の発生量は平年並(ほ場率：平年比79%、株率：平年比100%)。(±)  
・ 向こう1か月の気温は高く、日照時間は少ない見込み。(±)
- (3) 対 策 ・ 低密度のうちにマッチ乳剤(I:15)等のIGR剤を散布する。  
・ 観察した花の1割以上にアザミウマ類の寄生が見られる場合は、速やかにスピノエース顆粒水和剤(I:5、カブリダニ等の天敵に影響があるので注意する)等を散布する。
- (4) 備 考 ・ [防除のポイントNo.19](#)、[アザミウマ薬剤感受性検定結果①](#)、[②](#)を当センターHPに掲載中。

### 5 トマト 灰色かび病

- (1) 発生予想 発生量：**やや少ない**
- (2) 根 拠 ・ 現在の発生量は少ない(ほ場率：平年比0%、株率：平年比0%)。(－)  
・ 向こう1か月の気温は高く、降水量は多く、日照時間は少ない見込み。(＋)
- (3) 対 策 ・ 施設内が多湿にならないように換気やかん水に注意する。また、循環扇や暖房機等を用いた通風により、結露防止に努める。  
・ 発病葉、発病果、花卉は伝染源となるため、速やかに取り除き、施設外で処分する。  
・ 発生状況に応じてピクシオDF(F:17)等を葉裏にもよくかかるように散布する。

(4) 備考 ・ [灰色かび病薬剤感受性検定結果①、②](#)を当センターHPに掲載中。

## 6 トマト すずかび病

- (1) 発生予想 発生量：**多い**
- (2) 根 拠 ・ 現在の発生量はやや多い（ほ場率：平年比 679%）。（+）  
・ 向こう 1 か月の気温は高く、降水量は多く、日照時間は少ない見込み。（+）
- (3) 対策 ・ 施設内が多湿にならないように換気やかん水に注意する。また、循環扇や暖房機等を用いた通風により、結露防止に努める。  
・ 発病葉は伝染源となるため、発生初期に速やかに取り除き、施設外で処分する。  
・ 予防を主体にダコニール 1000(F:M5)等を葉裏によくかかるように散布する。発生が認められる場合は、ネクスターフロアブル(F:7)等を使用する。
- (4) 備考 ・ [すずかび病薬剤感受性検定結果](#)を当センターHPに掲載中。

## 7 きく ハダニ類

- (1) 発生予想 発生量：**平年並**
- (2) 根 拠 ・ 現在の発生は平年並（ほ場率：平年比 117%、株率：平年比 31%）。（±）  
・ 向こう 1 か月の気温は高く、日照時間は少ない見込み。（±）
- (3) 対策 ・ ほ場をこまめに観察し、増殖する前に防除を行う。  
・ 化学農薬に対する感受性低下が起りやすいため、RAC コードの異なる薬剤をローテーション散布する。

## 8 その他の病害虫

作物名	病害虫名	現況	発生予想	作物名	病害虫名	現況	発生予想
いちご	アブラムシ類	平年並	<b>平年並</b>	トマト	黄化葉巻病	平年並	<b>平年並</b>
きゅうり	うどんこ病	やや多	<b>多</b>		葉かび病	平年並	<b>やや多</b>
	べと病	やや多	<b>多</b>	にら	白斑葉枯病	少	<b>やや少</b>
	コナジラミ類	多	<b>多</b>	きく	アザミウマ類	多	<b>多</b>

### 〇りんご属及びなし属植物の中国産花粉の使用自粛のお願いについて

りんごやなしの火傷病（かしょうびょう）は、日本未発生の重要病害です。今般、これまで発生国とされていなかった中国で本病の発生が確認され、りんご・なしの授粉用に中国産花粉を輸入して使用していた日本においても、その侵入が懸念されています。中国産花粉には本菌が付着しているおそれがあることから、生産年にかかわらず、県が回収・買上げし、廃棄しますので、所有している場合には、必ず、農業振興事務所に御連絡願います。

### 〇かんしょ サツマイモ基腐病

本病は栃木県での発生は確認されていませんが、令和6（2024）年2月現在、全国34都道府県で発生が確認されています。発病すると、地上部の変色及び枯死、イモの腐敗等の症状が現れます。

健全な種苗の導入及び発病株の早期発見により被害の拡大を未然に防止することが重要です。

[サツマイモ基腐病に注意！](#)を当センターHPに掲載中です。

### 〇水稲の種子伝染性病害の対策について

種子消毒を適切に行い、使用する床土や育苗箱、育苗器などの育苗資材・器具もしっかり消毒することで、苗立枯病や種子伝染性病害の発生を防止しましょう。また、もみ枯細菌病、苗立枯細菌病などの細菌病は、高温・多湿条件で発生しやすいため、育苗ハウス内の温湿度管理にも留意しましょう。

### 〇冬期のスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）対策について

足利市・小山市・野木町の排水路等でスクミリンゴガイの生息が確認されています。スクミリンゴガイが見られている地域では、水稲作へ向けて越冬密度を下げる以下の対策を行いましょう。

- ・ 耕うんを行い物理的に破壊するとともに寒風にさらす
- ・ 水路の泥上げにより、越冬場所をなくし越冬個体を減らす

[スクミリンゴガイに注意しましょう](#)を当センターHPに掲載中です。

### 農業は適正に使用しましょう

- 〇農薬は、容器のラベルをよく読んで適正に使用し、農薬の飛散（ドリフト）にも注意しましょう。
- 〇花粉媒介昆虫のミツバチ、マルハナバチや天敵に対する影響日数に注意して薬剤を選択しましょう。
- 〇薬剤防除では、RAC コードの異なる薬剤をローテーション散布しましょう。

## 1か月気象予報（予報期間2月17日から3月16日 2月15日気象庁発表）

寒気の影響を受けにくく、暖かい空気が流れ込みやすい時期があるため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。

低気圧や前線などの影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

### 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）

項目	低い（少ない）	平年並	高い（多い）
気温	10	30	60
降水量	20	30	50
日照時間	50	30	20

詳しくは農業環境指導センター（TEL 028-626-3086）までお問合せください。

病虫害情報発表のお知らせはX（旧ツイッター）「栃木県農政部(@tochigi\_nousei)」、農業環境指導センターホームページ（<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g64/index.html>）でもご覧になれます。



NOUGYO\_KSC\_TOCHIGI

### Instagram 農作物病虫害図鑑@とちぎ

センター所蔵の病虫害画像をInstagram上で公開しています。

主要病虫害から珍しい種まで、定期的に更新中！

#栃木県#病虫害図鑑 検索&フォローよろしくお願いします！

### 農業環境指導センター移転のお知らせ

農業環境指導センターは組織改編の一環で農業試験場と統合し、令和6年4月1日から「農業総合研究センター」となります。

新住所：農業総合研究センター 宇都宮市瓦谷町1080（現農業試験場）

電話番号：環境技術指導部 検査指導課 028-665-1243

防除課 028-665-1244